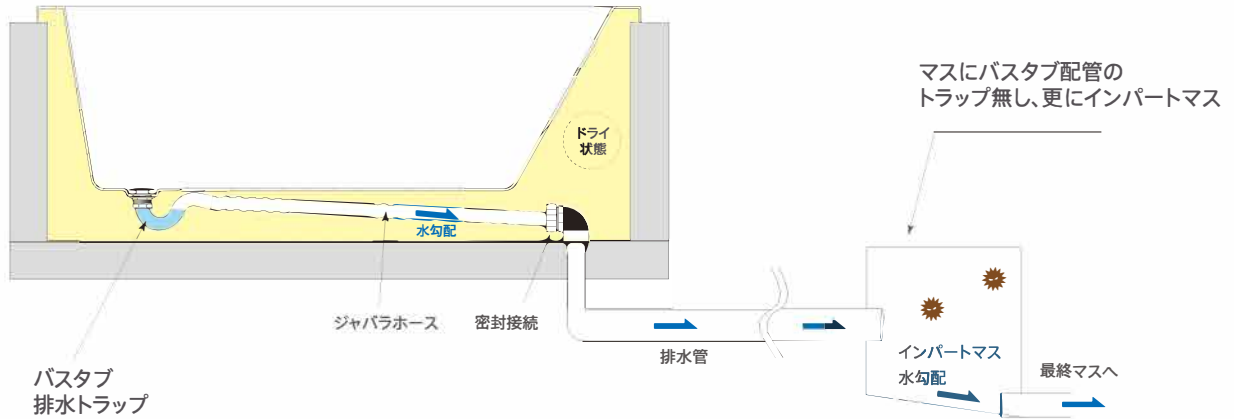


## ◎ 正しい設置方法（仕様書に忠実な施工）

※バスタブトラップで排水管内の悪臭を遮断できる為、快適なバスライフを楽しんで頂けます。  
更に、バスタブを簡単に取外し・取換のできる施工方法をお勧めします。

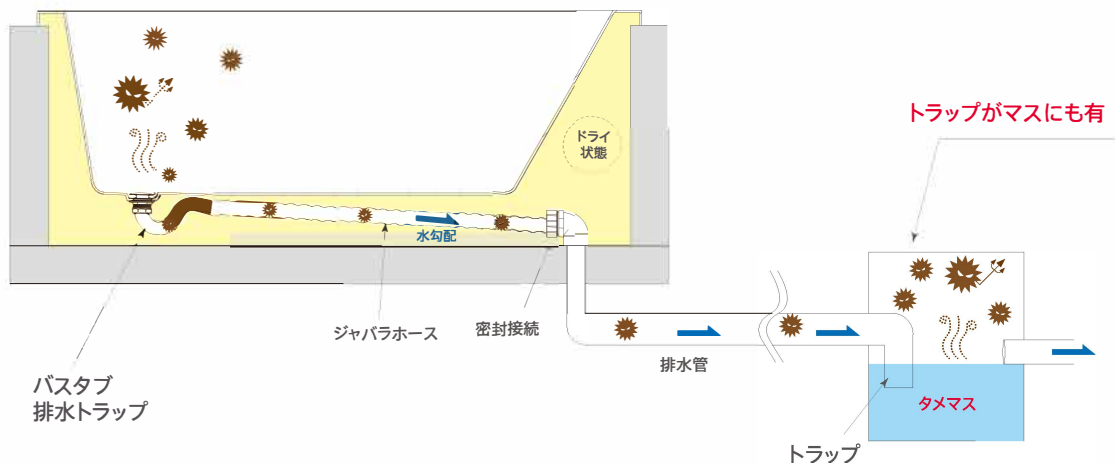


※バスタブの排水管は、立上り管はVU50φ、横引管はVU65φを単独（他の器具を合流しない）でインパートマスまで配管する事をお勧めします。

## × よくある失敗例①（ダブルトラップ）

※ダブルトラップとなっている場合、排水の流れが悪くなりバスタブの排水に時間がかかります。

又、マスに設けたトラップとバスタブトラップがサイホン現象を起こし、バスタブトラップの封水（トラップ）がやぶれ排水管内の悪臭がバスルーム内に逆流してきます。改善点として、マスのトラップをやめてバスタブ排水トラップ1ヶ所のみにして下さい。



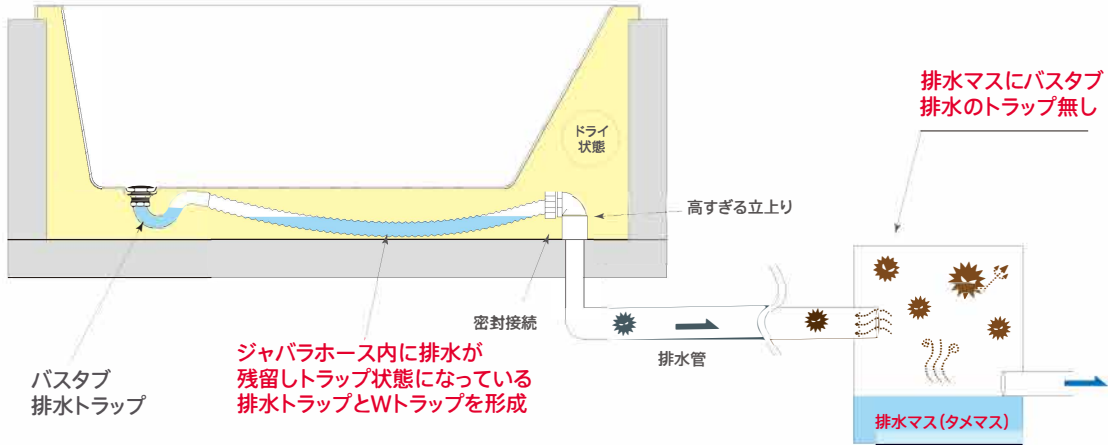
-  水勾配
-  空気の流れ
-  悪臭

## × よくある失敗例 ② (ダブルトラップ)

※ダブルトラップとなっている場合、排水の流れが悪くなりバスタブの排水に時間がかかります。

又、ジャバラホース内の残留水がサイホン現象を起こし、水の流れが悪くなります。

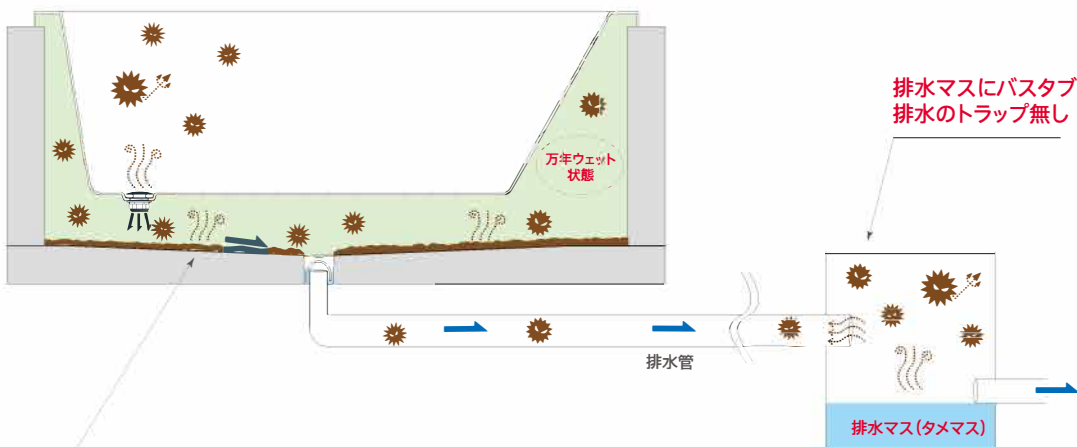
改善方法として、高すぎる立上りを下げて下さい。もしくは、ジャバラホース全体を持ち上げて水が残留しないようにして下さい。



## ××× よくある失敗例 ③ (開放式排水)

※ピット内の掃除ができません。

バスタブ排水金物よりワントラップ排水まで、解放式で施工されている為ピット内に繁殖したバクテリアが水アカとなり蓄積し、悪臭(ガス)がバスタブ排水金物よりバスルーム内に上がってきます。



ピット内にバクテリアが繁殖し、厚さ1~2cmの水アカが付着しますが、掃除ができず不衛生です。

水アカ内のバクテリアがガスを発生させ、悪臭の元になると共に、ガスがバスタブと化学反応を起こし

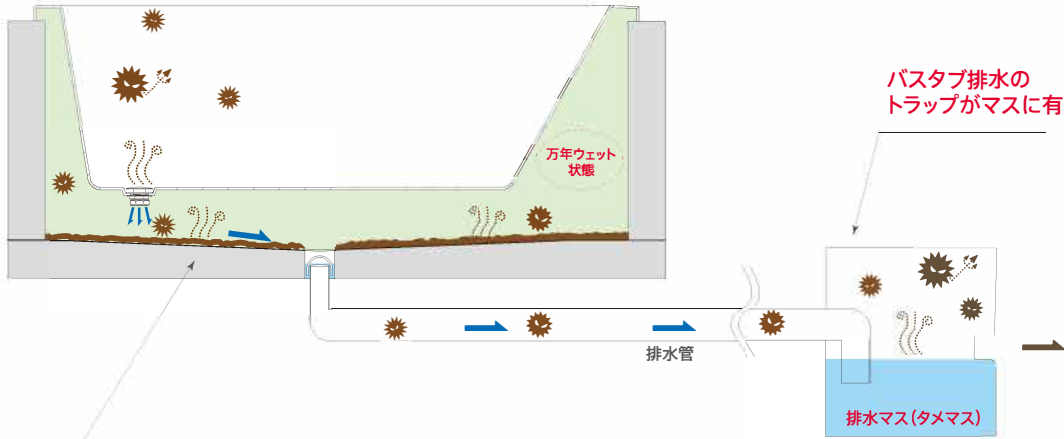
アクリル槽の剥離(水ぶくれ)が生じる場合があります。

やむを得ず開放式とする場合、ピット内の常時換気(ガス抜き)や定期的な掃除を行える様な施工をお願いします。

-  水勾配
-  空気の流れ
-  悪臭

## ×××よくある失敗例 ④ (開放式排水)

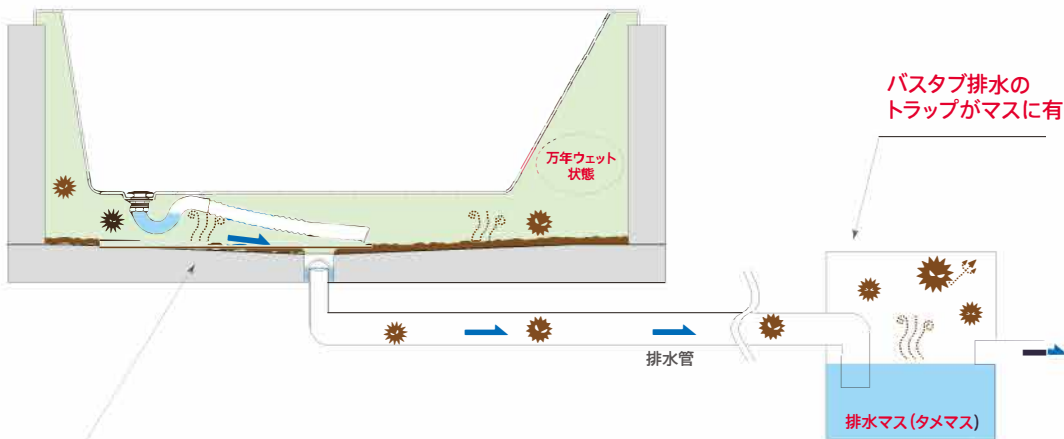
※ダブルトラップとなっている場合、排水の流れが悪くなりバスタブの排水に時間がかかります。  
バスタブ側もしくはマス側どちらか一方のトラップにしてください。



ピット内にバクテリアが繁殖し、厚さ1~2cmの水アカが付着しますが、掃除ができず不衛生です。  
水アカ内のバクテリアがガスを発生させ、悪臭の元になると共に、ガスがバスタブと化学反応を起こし  
アクリル槽の剥離(水ぶくれ)が生じる場合があります。  
やむおえず開放式とする場合、ピット内の常時換気(ガス抜き)や定期的な掃除を行える様な施工をお願いします。

## ××よくある失敗例 ⑤ (トラップ付 開放排水)

※ダブルトラップとなっている場合、排水の流れが悪くなりバスタブの排水に時間がかかります。  
バスタブ側もしくはマス側どちらか一方のトラップにしてください。

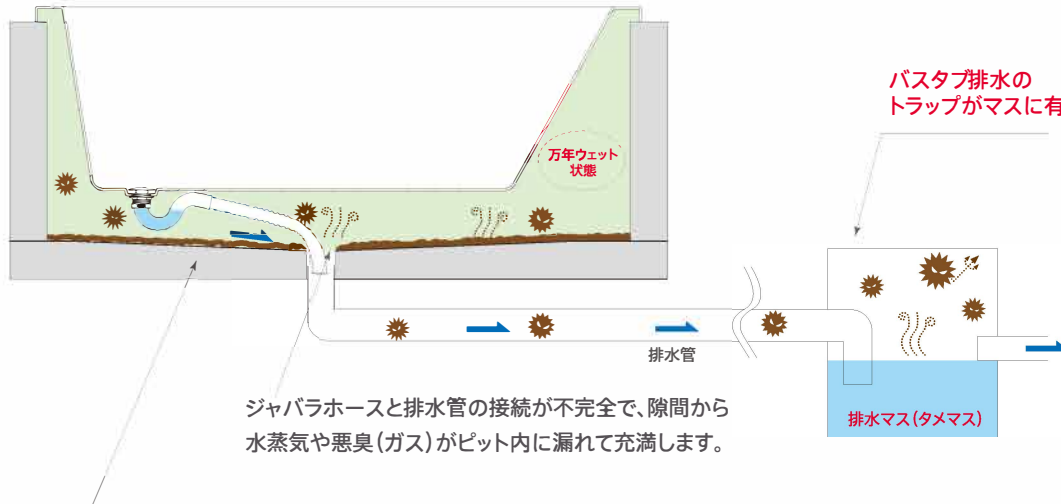


ピット内にバクテリアが繁殖し、厚さ1~2cmの水アカが付着しますが、掃除ができず不衛生です。  
水アカ内のバクテリアがガスを発生させ、悪臭の元になると共に、ガスがバスタブと化学反応を起こし  
アクリル槽の剥離(水ぶくれ)が生じる場合があります。  
やむおえず開放式とする場合、ピット内の常時換気(ガス抜き)や定期的な掃除を行える様な施工をお願いします。

-  水勾配
-  空気の流れ
-  悪臭

## ×× よくある失敗例 ⑥ (トラップ付 開放排水・不完全な接続)

※ダブルトラップとなっている場合、排水の流れが悪くなりバスタブの排水に時間がかかります。  
バスタブ側もしくはマス側どちらか一方のトラップにしてください。



ジャバラホースと排水管の接続が不完全で、隙間から水蒸気や悪臭(ガス)がピット内に漏れて充満します。

ピット内にバクテリアが繁殖し、厚さ1~2cmの水アカが付着しますが、掃除ができず不衛生です。  
水アカ内のバクテリアがガスを発生させ、悪臭の元になると共に、ガスがバスタブと化学反応を起こし  
アクリル槽の剥離(水ぶくれ)が生じる場合があります。  
やむおえず開放式とする場合、ピット内の常時換気(ガス抜き)や定期的な掃除を行える(点検口の設置など)施工をお願いします。

- 水勾配
- 空気の流れ
- 悪臭

当社が開示する施工方法は、当社が過去の実績と経験において問題が生じなかった方法ではありますが、この事実によって、お客様が施工する場合において問題が生じないという保証を与えるものではありません。